

WTO / ITA 拡大のためのシンポジウム概要

日 時：2012年10月3日（水）14：30～17：00

場 所：CEATEC（幕張）国際会議場 コンベンションホールB

- WTO 情報技術協定(ITA)の拡大を目指し、CEATEC JAPANの会期中に、国際シンポジウムを開催した。



- METI 商務情報政策局中山審議官より来賓挨拶をいただいた後、WTO パスカル・ラミー事務局長より届いたメッセージを紹介した。



メッセージでは、ITA を更に成功に導くために IT 業界の積極的な関与と行動が重要である状況のもと、今回の ITA シンポジウム開催への感謝が述べられた。

- 基調講演

JEITA 中鉢良治会長より、情報と通信の関係から ICT 製品の重要性について説明され、ITA 拡大に向けた期待が述べられた。また、METI 通商政策局通商機構部宗像部長よりこれまでの交渉の取組や今後の対応についてご説明いただいた。



- 招待講演

ジェトロ・アジア経済研究所国際産業連関分析研究グループの猪俣グループ長より、「モノの貿易から価値の貿易へ」と題し講演いただいた。



- パネルディスカッション

EU から DIGITALEUROPE のヒギンズ事務局長、US から ITI のニューファーマー常務理事、日本から JEITA の千原通商委員長が参加し、ITA 拡大を進めるべきとの声が各プレゼンターから強く出された。最後に、モデレーターの JEITA 長谷川常務理事より、シンポジウムのまとめとして日米欧 3 極にて作成した共同ペーパー(裏面参照)を発表した。



- 10月12日（金）、訪日中であったWTO ラミー事務局長に対し、中鉢会長が共同ペーパーを直接手交された。



2012年10月3日

ITA 拡大シンポジウム共同声明

CEATEC Japan 2012 を機に開催された ITA 拡大シンポジウムに参加した世界のハイテク産業は、以下を確認した。

1. WTO/ITA の対象品目拡大交渉がスタートしたことを高く評価し、ジュネーヴで現在進められている作業を歓迎する。
2. 先日ウラジオストクで開催された APEC でも WTO/ITA の対象製品と加盟国の拡大への支持が再確認されるとともに、APEC21 カ国首脳より APEC 加盟国に向け、「交渉の迅速かつ良好な決着に向けて真剣に取り組む」ことを要請する呼び掛けを行ったことを高く評価する。
3. WTO/ITA は、IT 製品の自由な流通を促すことにより、高度情報化社会を構築し、われわれの日常生活のさまざまな場面での利便性の向上をもたらしてきた。そして世界経済の成長と技術革新を加速させた。
4. 一方で、この 15 年間ただ一つの製品も対象品目に追加されることがなく、社会に多大なる利益をもたらす多くの革新的な製品が WTO/ITA の対象となっていない。
5. 更なる高度情報化社会の構築、そして世界経済の活性化に向け、ITA メンバーの拡大もまた重要な課題である。
6. このシンポジウムに参加したわれわれ世界のハイテク産業は、WTO/ITA 拡大交渉の早期かつ有意義な結論を得るため、ジュネーヴでの協議や交渉に参加するそれぞれの政府への協力を惜しまない。われわれは交渉が一年以内に成功裏に決着することを強く願うものである。

DIGITALEUROPE (EU)

ITI (米国)

JEITA (日本)